

米国経済・株式市場情報

堅調な12月米製造業景況指数を受け日米株上昇

12月米製造業景況指数は市場予想を上回る3ヵ月ぶりの高水準

- ▶ 米製造業景況指数が市場予想を上回る高水準。同指数は長い歴史を持ち投資家が注目する指数。
- ▶ 新規受注が高水準な中、採用難から雇用は軟調。堅調な同指数の発表を受け米国株を中心に世界各国の株価は概ね上昇。2018年も堅調な景況感が継続するのかが注目点。

～ 米製造業景況指数は長い歴史のある指数。多くの投資家が注目。 ～

- 1月3日に米供給管理協会(ISM)から公表された12月の米製造業景況指数は59.7と市場予想を上回りました。堅調な同指数の発表を受けてNYダウは上昇し、日経平均株価も上昇しました。同指数は90年近く継続されている伝統から、景況感を知る上で重要な指数と見なされており、欧州のマークイット公表のPMI、日本の日銀短観と並びもしくはそれ以上に多くの市場参加者に注目されています。同指数は300社程度の製造業購買担当者への調査を通じて景況感が前月と比較して良くなったか、同じか、悪くなったかを指数化するDI(ディフュージョン・インデックス)として算出され、景況感5項目(新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫)を各20%ずつ加重平均した総合指数です。各企業の担当者の景況感による指数であり“景気の先行き”を示すため、センチメント(投資家心理)へ働きかける指数と見る投資家もいます。

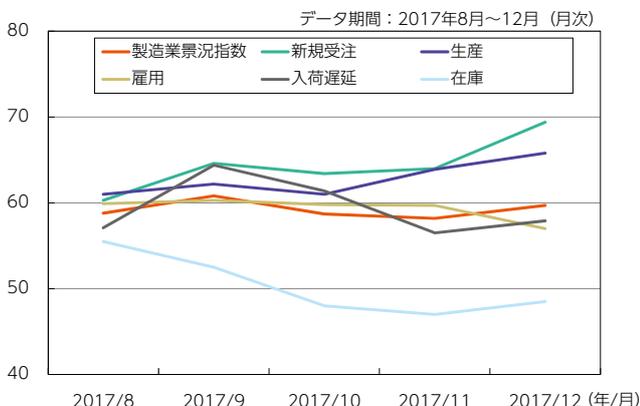
～ 新規受注は2004年以来の高水準 ～

- 指数の詳細をみると12月の結果は3ヵ月ぶりの高水準であり、成長基調が16ヵ月に渡って継続しています。年平均で同水準が維持されれば、実質国内総生産が5%程度押し上げられるとの分析もあります。指数を構成する各項目では新規受注が69.4と前月より5.4ポイント上昇しており、2004年以来の高水準となっています。一方で雇用は57.0と良好とされる50を上回っていますが、前月より2.7ポイント低下しています。失業率が低下している環境での採用が難しくなっていることが予想されます。

～ 堅調な指数を好感し米国株は上昇。日本株も大幅高で大発会を終える。～

- 市場予想を上回る同指数を受け、米国株を中心に世界各国の株式市場は概ね上昇し、中でも日本株は大幅高で大発会を終えました。米国は底堅い景気拡大が継続する中でも、物価上昇や賃金上昇の鈍さなどから慎重に利上げを行い、市場は2018年の利上げを2回～3回と見込んでいます。今後も堅調な景況感が継続するかが注目点ですが、税制改革などの景気刺激策で経済成長が加速すれば利上げ回数が増加も想定されます。また秋には米国中間選挙が控えています。利上げや選挙など2018年の米国株式にはいくつかの超えなければならないハードルが存在し、また地政学リスクや欧州などの政治リスクへの注意が必要ですが、良好な景況感や企業業績を受けて概ね堅調な推移が予想されます。

図表1：直近の米製造業景況指数と5項目の推移



図表2：直近の日米の株価



出所) 図表1はISM、図表2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成。

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会